

平成 28 年度 札幌医科大学医学部同窓会
講演会・総会・懇親会を顧みて

第 43 回札幌医科大学医学部同窓会の講演会・総会・懇親会は 7 月 9 日（土）にさっぽろプリンスホテルパミール館で開催されました。

講演会は、福多 史昌先生(46 期)が「前立腺肥大症と下部尿路症状の自然史」、林俊治先生(36 期)が「院内感染アウトブレイクを制御する」と題して行われました。林先生のユーモアがちりばめられた熱弁が印象的でした。

総会では、昨年の総会以降逝去が判明した 35 名の会員名の奉読が西里卓次副会長からありご冥福を祈り黙祷を捧げました。望月総務委員長補佐が、幹事会における討議事項を報告しました。

社会福祉貢献賞は東浦勝治先生(36 期)に授与されました。受賞理由は、「根室地区における医療の回復と発展」に大いに貢献されたことを評価して同期からの推薦によるものです。

全体写真撮影後、懇親会に移り、36 期の穴沢龍治先生が進行役となり田中会長、塚本泰司新理事長・学長からご挨拶を戴きました。田中会長は役員改選で再選されたので、もう一期会長を務め、同窓会の財政が厳しくなっているので立て直しを図っていきたくと抱負を述べました。塚本学長からは、いつも医学部に協力して戴いていることに感謝するとともに、今後とも絶大なるご支援をお願いする、とのご挨拶を戴きました。

穴沢先生の乾杯で懇親会が始まり、途中島本和明前学長、秋野豊明元学長および堀尾嘉幸医学部長からスピーチを戴きました。島本前学長は、本望教授が進めている神経再生医療に用いる骨髄細胞製造施設をニプロが建設していること、教育施設Ⅰ・Ⅲの外構がすでに顕わになってきて徐々に新キャンパス構想が完成に近づいていることを述べられました。秋野元学長からは開学 50 周年/創基 55 周年の時の苦労をお話になり、開学 70 周年/創基 75 周年にどういう事業を行うのか今から考えておかないといけない、とお話になりました。堀尾医学部長は国試対策に同窓会からご支援を戴き、お陰で今年は道庁との約束の国試合格率 94%以上を達成できたことを報告されました。

最後に、46 期の稲富周一郎先生の乾杯で懇親会は盛大裡に終了しました。

[記念写真](#)